



## 茎数が少ない。「雪若丸」はこの時期の茎数確保が重要！ 早めに茎数を確保する対策を行きましょう！

### ◎ 生育概況と技術対策

平坦部「雪若丸」の生育（6月10日）

項目	調査値	指標値	指標比・差	(概況)
草丈	24.9 cm	25.3 cm	98	並み
茎数	213 本/m <sup>2</sup>	250 本/m <sup>2</sup>	85	少ない
葉数	6.5 枚	6.5 枚	0.0	並み
葉色(SPAD)	37.4	38	-0.6	並み

(農業技術普及課調べ)

6月10日現在の生育は、指標値に比べ草丈・葉数・葉色は並み、茎数は少なくなっています。また、ほ場ごとに生育のバラツキが大きくなっています。

茎数が少ないほ場では、深水管理になっていたり、土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離が発生していませんか？ほ場ごとに生育を確認し、きめ細かな栽培管理を行いましょ

#### (1) 茎数が不足している場合

引き続き日中止水、夜間かんがいを徹底し、水深2～3cmの浅水管理で分けつを促しまし

しょう。土壌の還元が進んでいます。ワキが強い場合は、田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ってから、窒素成分量1kg/10a程度を補完的に施用しまし

#### (2) しっかり有効茎数を確保したら直ちに作溝・中干し！

「雪若丸」は、6月中（8～9葉期まで）に有効茎数（560～580本/m<sup>2</sup>）を確保することが高品質・良食味米生産と適正籾数確保のポイントです。

有効茎数を確保したほ場では、直ちに作溝・中干しを行います。

#### (3) 葉色を低下させないように管理！

「雪若丸」の葉色（SPAD値）は、今後幼穂形成期まで40未満に低下させないよう管理することが大切です。生育指標を目安に、適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょ

**生育に応じたきめ細かな栽培管理で、  
おいしい「雪若丸」を育てましょう！**